

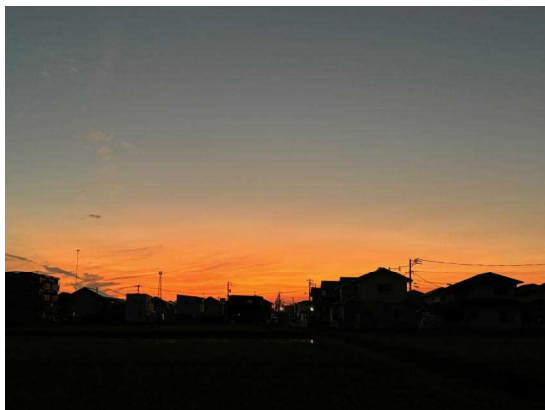


「空模様は毎日違う、そのように…」

毎日、毎朝、夕方、夜、空模様は一度として同じではない。似ている日があるかもしれないが、やはりどこか違う。

だから、毎日見ても飽きない。

この夏は、台風の時期を除いて、ほとんど猛暑の晴れが多かったように思う。だからだろうか、晴れのありがたみを思うことがなかった。梅雨時には、晴れてくれないかなと、あれほど願うのに、毎日続くありがたいと思わなくなる。



(夜明け前 延岡市別府町 2024.9.6 5:22am)

人生を振り返ったとき、毎日身体の調子が良くて、いつも元気だったら、身体の調子について考えることはないだろう。

風邪などの病気になって初めて、健康のありがたさを知ることになる。身体の調子も日々変化しているからこそ、その有難さについて考えるのである。

仕事を進めるに当たって、自分の予定し



(台風後のサルズベリ 延岡市緑ヶ丘 2024.9.3)

ていた業務が、急な対応に迫られ、予定していた業務を残業で乗り越えることになったり、予定以上の時間を要したりすることは、結構あるのではないかな。

悲しい出来事があったあとに、うれしいことがあれば、もっとその喜びは大きくなるのではないかな。

人はみんな、幸せを求めて生きていると思う。しかし、なかなか思うようにはいかない毎日。

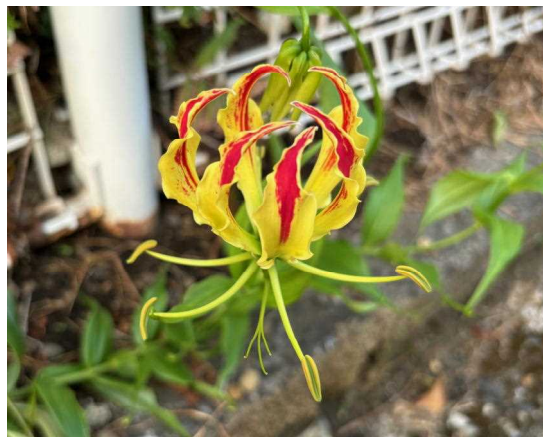


(朝日を眺める 宮崎市柏原 2024.9.1 6:06am)

ということは、昨日と今日の仕事内容が全く同じで、何も違いがないとしたら、きつとつまらない日になるのだろう。

私たちの過ごす毎日が、昨日と全く一緒だった、ということは恐らくないだろう。

毎日が違う、自分の思うとおりに行かないことは、ありがたいことなのだろう。



(グロリオサ 宮崎市柏原 2024.9.1)